

令和6年度(後期) おひさま認定こども園 教育及び保育活動への評価

園長:仲村由香 主任保育士:富着聖子

おひさま認定こども園は、保育の質の向上を図るため、当園の教育及び保育の内容等について、自己評価及び外部評価(保護者による評価)を行い、その結果を公表いたします。



《今後の改善、取組みについて》

・教育・保育においては、多様性へ配慮し子ども達が伸び伸びと過ごせるよう環境を整え、保育をおこなってきました。今後も各学年へ接続した教育及び保育の提供ができるよう取り組んでいきたい。

・安全管理については、災害発生時の対応や職員の役割分担について、職員間で連携を図ってきました。

・組織運営では、職員一人ひとりが組織の一員であることを意識し、質の向上を目指す努力をおこなってきました。

・特別支援については、研修を通して日々の困り感の解消や、子ども理解へ努める努力をしました。また、保護者との連携を図り安心・安全に過ごせるよう対策をおこないました。

・地域との連携については、他保育園との交流会や小学校接続へ向けて学びを深めてきました。今後も、積極的に連携・協力を図ってまいります。



達成(A) おおむね達成(B) やや不十分(C) 不十分(D)		
領域	評価項目	評価
重点目標	自然体験＝原体験を積み重ねる	B
	体づくり＝体軸体操.etc	B
	発達支援＝あいのうらいん(研修)	A
こども園における教育・保育	個々の発達や経験差を理解し、一人ひとりに合った適切な教育及び保育	B
	多様性へ配慮し、園児一人一人が伸び伸びと過ごし、安心して遊び、生活する	A
安全管理指導	災害発生に備え、防火設備、避難経路等の安全性を確保する	A
	備品、遊具等の配置、保管を適切に行い、日頃から安全環境の整備に努める	A
	災害発生に備え避難訓練を実施し、職員の役割分担、保護者等への連絡、引き渡し方法について連携を図る	A
保健管理指導	生活全体を通して健康や安全に関する管理や指導、食育の推進に努める	B
特別支援	個の状況に応じた支援方法を職員間で共有理解し、家庭や関係機関と連携を取りながら教育及び保育にあたる	B
組織運営	全職員が組織の一員として運営に参加することを意識し、資質の向上に努めている	B
研修体制	必要な知識及び技術の修得、維持向上を図るとともに、保育の課題等への共通理解や協調性を高め、保育園全体としての保育の質の向上を図っていく	B
教育環境の整備	定期的に安全点検を実施し、施設、設備の不備改善に努める	A
家庭との連携・協力	園児の日々の様子の伝達や収集、教育及び保育の意図の説明などを通して、保護者との相互理解を図る	A
学校との連携・協力	保幼小連携を円滑に行い、継続的な交流を計画し相互理解を深める	A
地域との連携・協力	地域の子どもが健やかに育成される環境を提供し、保護者に対する総合的な子育て支援を推進する	A

《保育関係者からのご意見・苦情について》

- 「子ども同士の関わり(トラブル)を見ていないのではないか」というご意見がありました。年長児クラスの為、子ども同士で話し合い、解決できる力を身につけてほしいという願いもあることから見守りをおこなっていますとお伝えしました。その後は大人同士、保育者も踏まえて話し合いで解決することができました。

今後も皆様からのご意見を大切に受け止め、より良い園づくりしていきます。